



山形県木材産業協同組合

〒990-2473 山形市松栄 1-5-41
 TEL.023-666-4800 FAX.023-646-8699
 URL:http://www.mokusankyo.jp
 E-mail:yamawood@mokusankyo.com

目次

- 1. 児童木工コンクール審査会開催!!
- 2. 県森林管理推進協議会開催!!
- 3. 森林都市木造化推進議連視察!!
- 4. 9月県議会スタート!!
- 5. 全木連東北支部総会開催!!
- 6. 広葉樹による地域再生シンポ開催!!



1 第44回山形県児童木工工作コンクール審査会開催!!

9月12日(木)山形市中央公民館(アズ七日町)において、山形県木材青壮年協議会(会長:松田卓也)主催で第44回山形県児童木工工作コンクール審査会が開催された。漆山達也実行委員長のもと会員が県内各地から応募作品約60点を集め、県農林水産部森林ノミクス推進課林業主幹菅原隆志氏を審査委員長とし、山形県知事賞以下、東北森林管理局長賞、県木産協理事長賞、日本木材青壮年団体連合会長賞、県木材青壮年協議会長賞など全国大会出品作を含め、優秀作品5点を選出した。



厳正なる審査(木材利用、意匠性、創造性等)の結果、山形県知事賞には山形市立東小学校4年鈴木美羽さん「森の妖精」(写真)が選ばれた。東北森林管理局長賞には山形市立宮浦小学校1年松田莉奈さんの「ライオンの王様」、木産協理事長賞には西川町立西川小学校1年前田結彩さんの「ぬいぐるみたちのおうち」、日本青会長賞には同小学校6年高橋奏人くんの「木で作ったカモシカ」、県木青協会長賞には山形市立東小学校6年山川真知くんの「見ざる聞かざる言わざる」が選ばれ、上位3点は全国大会へ出品される。表彰式は19日(土)林業まつり会場で開催され、展示もされる。10月前半には県庁ロビーでも展示され、各総合支庁でも展示する計画である。



2 第1回山形県森林管理推進協議会開催!!

9月11日(水)県土地改良事業団体連合会(山形市松栄)会議室で県内各市町村担当課長と県内林業関係団体の長を集め、新たな森林管理システムについて意見交換を実施した。これは、4月から森林環境譲与税事業がスタートし、事業主体となる市町村に事業交付金が配当になるが、具体的な活動等の情報がないため、県と市町村で合意形成を図る目的としている。今後は、地域協議会を各総合支庁単位で立ち上げ、地域の実情を踏まえた「新たな森林管理システム」に反映させていく。当日は午後に研修会も開催され、林野庁森林整備部森林利用課森林集積推進室課長補佐三間知也氏が講師となり、「森林経営管理制度の背景と概要について」と題して講演した。

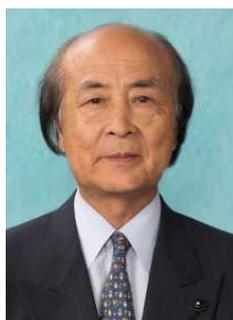


3 「森林を活かす都市の木造化推進議員連盟」県内視察!!

9月27日(金)南陽市シェルターなんようホールにおいて「森林(もり)を活かす都市(まち)の木造化推進議員連盟」(会長:吉野正芳衆議院議員)のメンバー5人と県内業界団体・行政関係者らと意見交換した。同議連は今年4月に発足し約百人の国会議員有志が参加している。民間でも5月に全木連が中心となり、「森林(もり)を活かす都市(まち)の木造化推進協議会」を立ち上げ、木産協も設立総会に参加し会員となっている。意見交換会には木産協から松田理事長が参加し、県産木材利用拡大に向けた事業等の要望を述べた。同議員連盟と協議会メンバーの視察は山形県が初めてであり、白鷹町の「まちづくり複合施設」とシェルターなんようホールの木造2施設を視察し、都市部においても森林を活かす木造化が可能と確信したと吉野会長が総括した。



4 9月県議会スタート!!

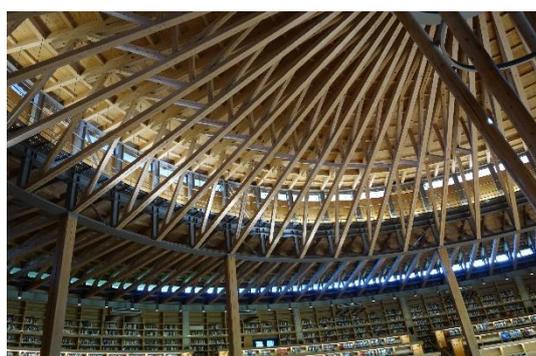


令和元年山形県議会九月定例会が13日から始まった。予算特別委員会では青柳安展委員(県政クラブ:東根市区)は、県産木材の需要拡大、作業の効率化や労働力確保、安全性の観点から、高性能林業機械のさらなる導入促進について県の方針等を尋ねた。

駒林雅彦農林水産部長は、県内の機械保有台数は現在129台と着実に増加している。しかしながら、東北他県と比較しても依然不足している状況である。県では、今年度から森林環境譲与税を活用し、レンタル方式の支援(高性能林業機械トライアル支援事業)を始めていると答弁した。

5 全国木材組合連合会東北支部総会開催!!

9月17日(火)秋田市「にぎわい交流館AU」会議室にて、全木連東北支部総会並びに研修会が開催された。本会議は東北6県木産協が持ち回りで開催しており、昨年は山形県が当番で、南陽市にて開催した。今年度本県からは松田理事長と鈴木専務が参加した。今回は、森林(もり)都市(まち)木造化推進議連会長の吉野正芳先生もオブザーバーで参加し、島田全木連副会長からは最新の中央での情報提供等があった。見学研修では、秋田駅東口J R体育館(プロバスケット:秋田ノーザンハピ



ネッツ)の木質化工事や駅構内の木質化工事、国際教養大学図書館等を廻り、設計士等との意見交換も行われた。総会では、東北支部としての林野庁や全木連への要望や意見の取りまとめを確認した。懇親会では、大正初期の歴史ある「旧割烹松下」を再利用した「あきた文化産業施設 松下」で秋田木材利用の真髄を堪能させていただいた。秋田県では、空港施設や秋田駅前バスターミナル、御所野ニュータウン等目につくところで木質化が積極的に図られている。

6 広葉樹による地域再生シンポジウム 2019in 岩手開催!!

9月5日（木）盛岡市「アイーナ」岩手県民情報交流センターにて、地域再生シンポジウム 2019in 岩手が開催された。4年目を迎え岩手開催は初めてで、全国から約200名の広葉樹材利用関係者が集まった。

シンポの翌日は盛岡木材流通センター（矢巾町）の視察で、東北一の国内有数の広葉樹中心流通センターで最近の動向等を研修した。フローリングメーカーが国産広葉樹の見直し、活用に動き始め、このセンターでは、クリ、ナラ、サクラ、オニグルミ、ブナ等の広葉樹一般材の需要が広がり、その他ケヤキ、セン、ホウ、サワグルミ、シナノキを加えた10種で取扱量の9割を占める。



7 10月以降の行事予定

日程	行事名	予定出席者
10. 4	地域プログラム会議（新庄市：農林大学校）	専務
10. 8	全国木材組合連合会臨時総会（東京）	理事長
10. 18	林政政策懇談会（山形市内）	理事長
10.19-20	第29回山形県林業まつり（天童市）	理事長他
10.28	木産協三役会（米沢市）	理事長他

8 日本百名山シリーズ紹介（五竜岳）

北アルプスの後立山連峰の中心に位置する五竜岳（2,814m）は、日本三大キレット（八峰キレット、不帰キレット）の二つに挟まれた岩稜地帯の中に鎮座する。キレットとは切戸と書き、山と山を繋ぐ尾根が深く切り落ちた場所を言う。もう一つの大キレットは槍と穂高の間にある。五竜の稜線は危ない箇所が続くが、アプローチ（遠見尾根、八方尾根）は二つともスキー場のゴンドラ等が整備されていて、かなりの高度を稼げる比較的易しいコースで、有名な雲上の白馬八方池は不帰の嶮や白馬三山をバッグにこんな写真も撮れる。登山コースは整備されているが、時々難易度の高い岩場が出現する登り応えのある個所と、お花畑もある危険と癒しの程良いバランスのコースである。



今回は八方尾根から唐松岳（2,696m）経由五竜山頂、遠見尾根下りの周回コースの報告で、唐松岳山頂まで結構登山客も多いが、牛首という難所から五竜岳方面へ進む人はまばらになる。山頂からの不帰の嶮は一見の価値あり。また、五竜の山頂直下からの八峰キレットも大迫力です。途中、雷鳥親子との対面もありました。五



竜山頂でご来光でしたが、後ろの剣岳が赤く輝き、これまで経験のない幻想的な朝を体験できました。帰り道で見た西遠見池越しの五竜山頂下部の雪形「武田菱」岩稜は圧巻である。また、東側には鹿島槍ヶ岳（2,889m）の双耳峰と大雪渓が迫り、絶好のカメラポイントです。ゴンドラ山頂駅周辺は高山植物園が広がり、観光客も多く下界に降りた安心感に浸れます。後はお決まりの八方温泉でお湯と蕎麦を楽しみます。

9

令和元年度 中大規模木造建築物研修会

◇研修会の趣旨

公共建築物等木材利用促進法の施行後、9年が経過し、山形県内にも多くの木造公共建築物が建設されています。

建築促進のため、建築基準法の一部改正や国の補助制度等により、木造建築物が建築しやすい条件整備も進んで来ています。

公共建築物等建築のサプライチェーンに携わる皆様を対象に、木造化に関する一層の理解を深めていただき、公共建築物等の木造化の推進による地域産業の振興を図ります。

◇講演

演題：「非住宅分野における木材利用の現状と展開について」（仮題）

講師：林野庁林政部木材利用課 木造公共建築物促進班
課長補佐 小木曾純子氏

◇会場 山形県土地改良会館「大会議室」 山形市松栄一丁目7-48

◇日時 令和元年10月30日（水） 13：30～15：30

◇対象 市町村職員、建築士、木材関係者等

◇主催 やまがた県産木材利用センター
共催 山形県



写真：白鷹町複合施設内部（白鷹町HP引用）



◇問い合わせ・申込み先 やまがた県産木材利用センター
TEL 023-674-7672 FAX 023-646-8699

11 8月期の住宅着工状況

令和元年8月期の県内新設住宅着工戸数は503戸となり、対前月比110.1%、対前年同月比98.1%、前年累計比は96.3%となった。地域別では山形市、天童市・東根市・米沢市・鶴岡市、酒田市が伸びている。増税前の駆け込みも見られなかった。木造率は79.7%

1 県内新設住宅着工戸数(令和1年8月)

(単位:戸)

年月	総数	利用関係別				資金別		木造住宅		木造内訳		
		持家	貸家	給与住宅	分譲住宅	民間	その他	戸数	木造率	在来軸組	プレハブ	2×4
22年	4,125	2,533	1,140	40	412	3,777	348	3,319	80.5%	2,479	112	728
23年	4,336	3,001	1,100	8	227	3,903	333	3,615	83.4%	2,778	121	716
24年	4,716	3,086	1,273	61	296	4,468	248	3,917	83.1%	2,940	156	821
25年	5,323	3,543	1,372	21	387	5,136	187	4,515	84.8%	3,453	152	910
26年	4,550	2,529	1,505	83	437	4,335	215	3,797	83.4%	2,752	106	939
27年	5,403	3,076	1,721	15	591	5,338	65	4,575	84.7%	3,138	130	1,307
28年	5,675	3,046	1,930	16	683	5,592	83	4,875	85.9%	3,370	109	1,396
29年	5,516	2,976	1,837	50	653	5,473	43	4,661	84.5%	3,366	98	1,197
30年	6,362	3,160	2,322	25	855	6,039	323	5,015	78.8%	3,367	128	1,520
8月	513	257	205	0	51	479	34	410	79.9%	275	16	119
30.1~8月	4,084	2,009	1,590	22	463	3,783	301	3,184	78.0%	2,139	74	971
9月	556	315	190	0	51	546	10	476	85.6%	336	24	116
10月	541	298	173	3	67	537	4	495	91.5%	341	12	142
11月	493	275	165	0	53	489	4	438	88.8%	297	12	129
12月	688	263	204	0	221	684	4	422	61.3%	254	6	162
31.1月	223	128	37	1	57	220	3	199	89.2%	163	7	29
2月	380	176	132	0	72	379	1	352	92.6%	208	10	134
3月	514	263	142	2	107	513	1	442	86.0%	315	6	121
4月	505	324	133	1	47	502	3	421	83.4%	321	8	92
5月	555	254	246	3	52	551	4	410	73.9%	282	6	122
6月	794	353	187	2	252	785	9	505	63.6%	367	23	115
7月	457	227	167	13	50	454	3	377	82.5%	289	3	85
8月	503	210	220	2	71	484	19	401	79.7%	276	9	116
対前月比	110.1%	92.5%	131.7%	15.4%	142.0%	106.6%	633.3%	106.4%	-	95.5%	300.0%	136.5%
対前年同月比	98.1%	81.7%	107.3%	-	139.2%	101.0%	55.9%	97.8%	-	100.4%	56.3%	97.5%
30.1~当月計	4,084	2,009	1,590	22	463	3,783	301	3,184	78.0%	2,139	74	971
31.1~当月計	3,931	1,935	1,264	24	708	3,888	43	3,107	79.0%	2,221	72	814
対累計前年比	96.3%	96.3%	79.5%	109.1%	152.9%	102.8%	14.3%	97.6%	-	103.8%	97.3%	83.8%

2 地域別新設住宅着工戸数(令和1年8月)

(単位:戸)

市町村	着工数	累計	前年比	累計比	木造累計
県計	503	3,931	98.1%	96.3%	3,107
山形市	169	1,375	105.6%	105.3%	927
上山市	2	77	11.1%	86.5%	73
天童市	36	338	257.1%	166.5%	314
山辺町	3	44	21.4%	81.5%	42
中山町	3	34	75.0%	170.0%	22
東南村山	213	1,868	101.4%	111.7%	1,378
寒河江市	22	159	73.3%	86.9%	127
河北町	1	33	16.7%	68.8%	32
西川町	0	4	-	66.7%	4
朝日町	1	3	-	75.0%	2
大江町	3	19	150.0%	126.7%	18
西村山	27	218	71.1%	85.2%	183
村山市	2	50	28.6%	104.2%	50
東根市	44	242	151.7%	101.3%	223
尾花沢市	2	34	100.0%	136.0%	33
大石田町	1	2	-	66.7%	2
北村山	49	328	128.9%	104.1%	308
村山地域	289	2,414	101.0%	107.6%	1,869
新庄市	7	153	116.7%	150.0%	115
金山町	1	3	33.3%	50.0%	3
最上町	1	4	100.0%	40.0%	4
舟形町	0	1	0.0%	25.0%	1
真室川町	0	4	-	-	4

市町村	着工数	累計	前年比	累計比	木造累計
大蔵村	1	3	100.0%	50.0%	3
鮭川村	0	5	0.0%	55.6%	5
戸沢村	0	3	0.0%	50.0%	3
最上地域	10	176	55.6%	123.1%	138
米沢市	65	276	92.9%	44.6%	238
南陽市	6	70	75.0%	118.6%	69
高島町	9	67	300.0%	121.8%	64
川西町	14	47	60.9%	97.9%	35
東南置賜	94	460	90.4%	58.9%	406
長井市	1	65	5.3%	73.9%	63
小国町	1	8	-	800.0%	12
白鷹町	3	21	18.8%	58.3%	19
飯豊町	3	14	300.0%	155.6%	9
西置賜	8	108	22.2%	80.6%	103
置賜地域	102	568	72.9%	62.1%	509
鶴岡市	45	318	136.4%	96.7%	311
三川町	2	23	200.0%	59.0%	15
庄内町	22	47	733.3%	88.7%	30
田川	69	388	186.5%	92.2%	356
酒田市	32	368	128.0%	110.8%	219
遊佐町	1	17	14.3%	56.7%	16
飽海	33	385	103.1%	106.4%	235
庄内地域	102	773	147.8%	98.7%	591

注:累計は平成31年1月~